

令和7年度まちづくり懇談会ふれあいトーク事前質問要望等一覧(栃木地域:第1・5地区)

No.	自治会	質問要望等	回答要旨
1	日ノ出町	<p>【市民会館跡地への消火栓増設のお願い】</p> <p>今泉泉川線道路整備事業の一環として、日ノ出町民の方6戸が市民会館跡地に転入し生活しているが、今後も増えると聞いている。昨年12月にビレッジハウス栃木日ノ出タワーの南で火災が発生した折、消防車が小金井街道側からは入れず、南側の狭い道路からの消火のみで、活動が遅れ一名の方が亡くられるという甚大な被害になり、地域住民の方々が不安を感じている。</p> <p>その不安を解消するためには、市民会館跡地への緊急車両の出入りと共に、付近への消火栓の増設が必至であり、切に願います。</p>	<p>【警防課:TEL 23-0070】</p> <p>市民会館跡地周辺では、今泉泉川線の道路整備事業が進められており、地域環境が大きく変化していることから、消防水利の確保や緊急車両の円滑な進入経路の確保が、これまで以上に重要となっております。</p> <p>令和6年12月に発生したビレッジハウス栃木日ノ出タワー南側での火災では、消防車は県道栃木二宮線の東武鉄道踏切側からの進入が道路狭隘により困難であるため、ビレッジハウス栃木日ノ出タワーの敷地内を通過して、現場北側にある防火水槽に車両を配置し、消火活動を行っており、過去の火災出動と比較しても、119番通報から消火活動開始までの時間に著しい遅れはなかったものと認識しておりますが、結果として尊い命が失われたことで、地域の皆様にご不安に感じたことと思います。</p> <p>現在、当該地域の水道配管の状況や道路整備事業の進捗について関係部局に確認し、新たに消火栓を増設する協議を行っております。また、市民会館跡地側からの車両進入も可能であることから、緊急時には災害の状況に応じて適切な進入経路を選定してまいります。今後とも、消防署と消防団との連携により消火体制の強化を図ってまいりますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。</p>
2	平柳一丁目	<p>【速度制限標識の設置について】</p> <p>通学路とは、自宅から学校までの登下校時に使用する道路を指しており、普段から目にしますが、速度制限や通行禁止などの交通規制が行われております。</p> <p>しかし、新栃木駅西口から出た先の、市道11092号線は通学路であるにもかかわらず、速度制限30kmなどの標識がなく、通学路を示す警戒標識もありませんので、朝の登校時間帯に結構なスピードで走る車があります。</p> <p>そこが通学路であることを喚起することにより、子どもたちの安全を確保し、事故が起きないように、速度制限標識の設置などの対処をお願いしたい。</p>	<p>【交通防犯課:TEL 21-2151】</p> <p>要望箇所の市道区間について、現地確認を行いました。</p> <p>ご要望の速度規制に関する標識については、栃木県公安委員会が権限を有しておりますので、市から栃木警察署に地元からのご要望内容をお伝えいたしました。</p> <p>なお、令和8年9月から中央線がない住宅街の生活道路は、時速30キロ制限の道路となることが予定されています。栃木警察署より、当該道路も対象となることが想定されるとの説明を受けていますので、今後の推移を見守ってまいりたいと思います。</p>

No.	自治会	質問要望等	回答要旨
3	小平町	<p>【高齢者への情報伝達及び高齢者の孤立防止、シニア世代の親睦】</p> <p>①近年、情報伝達・収集手段としてスマホが主流となり、人との会話が薄れていると感じる。特に情報に疎い高齢者は集う場所がなく、孤立するような社会となりつつあります。市では、この辺の問題について考えていただきたい。</p> <p>②市では市民ゴルフ大会を頻繁に開催しているが、シニア世代の親睦のため、市民グランドゴルフ大会等を企画してはどうか。</p>	<p>①【高齢介護課:TEL 21-2242】 【地域包括ケア推進課:TEL 21-2244】</p> <p>市では、70歳以上の方のみが暮らすお宅に「高齢者ふれあい相談員」が訪問するという事業を行っております。安否確認や必要に応じて話を聞いたり相談相手を務めるほか、毎月1回、『ふれあい通信』を配付しています。地域で孤立することがないように支え合いの事業でありますので、多くの皆さんにふれあい相談員の担い手として参加していただきたいと考えております。</p> <p>また、高齢者の孤立を防止するためには、地域での集いの場や見守り、支え合いの活動も重要と考えておりますので、高齢者の集いの場として、生きがいや健康づくりの活動を行うはつらつセンターやいきいきサロンの取組を支援するとともに、見守りが必要な方を日ごろから地域の身近な方々で見守り、支え合う地域支え合い活動の一層の普及啓発に取り組んでまいります。</p> <p>②【スポーツ課:TEL 25-0930】</p> <p>市民ゴルフ大会は、栃木市スポーツ協会が主催で、毎年11月に開催しております。</p> <p>栃木市スポーツ協会は、市民ゴルフ大会のほか、各地域のゴルフ大会などを、年10回ほど開催しています。</p> <p>グラウンド・ゴルフにつきましても、市交流大会をはじめ年12回程度の大会等を開催しているところですが、ご提案いただいた市民グラウンド・ゴルフ大会は、シニア世代の親睦に有効であると思いますので、市スポーツ協会とともに、市民グラウンド・ゴルフ大会の開催を検討してまいります。</p>

No.	自治会	質問要望等	回答要旨
4	小平町	<p>【児童下校時の安全確保の為、交通指導員を増やすなどの対策を】</p> <p>市の地域会議からの意見では「安全で安心な暮らし」の中で、通学路の整備、安全の確保が上がっています。私の意見としては、栃木中央小の通学路(箱森町を西へスーパーとりせんに向かう市道)においては、児童の下校時大変危険であると思います。下校時多くの児童が通り、ドライバーの皆様も皆さん十分注意を払って運転している様ですが、交通指導員を増やすなど、何か対策が必要ではないでしょうか。</p> <p>また、市で設置している交通標識等について、設置場所・破損等の点検もお願いいたします。</p>	<p>【交通防犯課:TEL 21-2151】</p> <p>交通指導員は、児童の登校時における安全な誘導が主な職務となっており、勤務時間が1日1時間と定められているため、下校時の立哨は行っておりません。現在、下校時の見守りについては主にPTAや地域の方々にご対応いただいております。</p> <p>市といたしましては、いただいた通学路に関する情報を学校と共有するほか、必要に応じて、交通安全協会と連携し、ドライバーへの注意喚起の看板を設置するなどの対応を検討いたします。</p> <p>また、「スピード落とせ」などの注意喚起看板の点検については、交通安全協会と連携し、随時対応してまいります。</p>
5	小平町	<p>【地域社会における防災組織作りの「手助け」をお願いしたい】</p> <p>市が行った市民へのアンケート等では、防災・医療・防犯に関する意見が上位を占めています。特に近年では地域住民の防災力の向上が関心を集めているようです。</p> <p>市に対する要望としては、地域社会に於ける防災組織作りの「手助け」をお願いしたいと思います。</p>	<p>【危機管理課:TEL 21-2551】</p> <p>地域社会における防災組織作りの『手助け』といたしまして、市では「自主防災組織設立・地区防災計画策定」の支援事業を行っております。これは、防災専門家と市の職員が地域に出向き、「自主防災組織の設立」と、地域の防災活動の柱となる「地区防災計画の策定」との支援を行うもので、これまで市内で5地区を支援しております。</p> <p>この事業については、令和5年度より、地区防災計画が無い地区の全自治会長あて直接ご通知をする形で公募をしております。今年度の募集は既に終了いたしました。防災組織作りの支援のご希望がありましたら、来年度以降ぜひご応募を検討いただければ幸いです。</p> <p>また、市では、新たに設立をされました自主防災組織に対して、「自主防災組織設立補助金」として、設立初年度に上限20万円の補助金を交付しておりますので、併せてご活用をいただければと思います。</p>

No.	自治会	質問要望等	回答要旨
6	小平町	<p>【『認知症にやさしいまちづくり事業』の内容について】</p> <p>市の総合計画基本施策 4-2、単位施策 4-2-3、高齢者の自立支援の充実の主要事業『認知症にやさしいまちづくり事業』とはどのような内容の事業なのでしょう。教えてください。</p>	<p>【地域包括ケア推進課:TEL 21-2244】</p> <p>『認知症にやさしいまちづくり事業』につきましては、認知症の方やご家族が住み慣れた地域で安心・安全に生活することができるよう、行方不明時に市や警察、協力事業所、地域住民などが情報を共有し、協力して早期発見・保護に繋げる「認知症高齢者等 SOS ネットワーク」を構築する事業です。</p> <p>ネットワークに登録した方は、QR コードを印刷したシールを用いて、行方不明時の身元確認や家族への引き渡しを円滑に行うことができる「見守りシール」の交付や、日常生活上の偶然の事故により賠償責任を負った場合に、保険金の支払いを受けることができる「認知症高齢者等個人賠償責任保険」への加入支援の対象になります。</p>
7	小平町	<p>【防犯・交通安全対策充実のため、防犯カメラの設置を進めて欲しい】</p> <p>最近、強盗や空き巣、詐欺など目に余る凶悪事件が多発しています。市では、栃木市総合計画の中で、安全安心な暮らしの確保(基本施策 1-1)で防犯・交通安全対策の充実を掲げ、防犯灯の設置を促しておりますが、それに並行して防犯カメラの設置も徐々に進めてもらいたいと思います。</p> <p>費用の面で、一度に広域設置は無理かと思いますが、計画的な実施をお願いいたします。</p>	<p>【交通防犯課:TEL 21-2151】</p> <p>市では、犯罪を予防し市民の安全と安心を確保するために、駅などの不特定多数の方が利用する公共の場所に防犯カメラを設置しています。今後も犯罪予防において真に必要な場所への設置について引き続き検討してまいります。</p> <p>なお、各自治会が自主的に設置する防犯カメラについては、「栃木防犯カメラ設置費補助金」という制度がございますので、自治会での設置を希望される場合には事前に交通防犯課にご相談ください。</p>
8	小平町	<p>【栃木市のふるさと納税の現状について】</p> <p>栃木市のふるさと納税の現状について、教えてください。</p>	<p>【総合政策課:TEL 21-2144】</p> <p>令和 6 年度の本市のふるさと納税の実績ですが、寄附の件数が約 4 万 3 千件、寄附金額が約 16 億 6 千万円となっております。</p> <p>前年度と比較し、件数は約 92%と減少しましたが、寄附額は約 118%と増加し、過去最高額となりました。</p> <p>寄附額の増加の主な要因といたしましては、前年度に引き続き、サントリー製品を返礼品として希望する寄附が安定していたことに加え、大平地域に工場を持つ日立の冷蔵庫及びエアコンを返礼品として希望する寄附が大きく伸びたことによるものと考えております。</p> <p>ふるさと納税は、財源確保の有効な手段のひとつであり、また、地場産業の振興にもつながるものであります。</p> <p>今後も、栃木市ならではの返礼品を積極的にPRし、本市の魅力を発信していくとともに、多くの方に栃木市を知っていただき、ご寄附いただけるように努めてまいります。</p>